

経営探訪

株式会社
チバ・テクノ

横浜にある本社と湯沢工場を往復する日々を送る千葉社長。社員と気さくに言葉を交わす。同社では地元の高校から新卒採用を続けている。



「下請け仕事はやらない」

技術を磨き、新たな価値をお客様へ提供し続ける

「抵抗器」「放電加工用ワイヤー電極」「放電加工用パイプ電極」のメーカーとして、国内トップクラスのシェアを誇るチバ・テクノ。「下請け」ではなく、自社で製品を提案、開発、販売するスタイルを大切に、日々新たな価値を生み出している。



代表取締役社長
千葉克徳
Katsunori Chiba

製品は身近な分野でも活躍

湯沢横手道路・湯沢ICから車で5分。雄物川沿いの広々とした敷地にチバ・テクノ湯沢工場はある。本社は神奈川県横浜市。1961年に東京で創業し、その3年後に誘致企業としてここ湯沢市に工場を構えた。

主力製品は、「抵抗器」「放電加工用ワイヤー電極」と「放電加工用パイプ電極」。千葉克徳社長は、「当社の製品が、何にどのように使われるのか、業界外の方にはなかなか理解していただけて苦勞します。」と笑うが、実は我々が身近に利用しているもの、目にしているものに使われている。

例えば、大電力型抵抗器と呼ばれる製品は、社会を支えるインフラ設備、産業用機械設備、エレベーター、エスカレーター、大型クレーンや各種工作機械に基幹部

品として組み込まれている。一方、放電加工用のワイヤー電極とパイプ電極は、家電商品、携帯電話などのデジタル機器、自動車部品やボディなど、さまざまな製品の金型製作や部品加工に使われている。

同社の製品は、品質管理を徹底する中で常にトップシェアを誇っている。湯沢に生産拠点を置きながら、大手企業との競争の中で、いかにして業界トップクラスを叶えてきたのか。また、創業から56年間、黒字経営を続けている秘訣とは。

業界のニッチで躍進

「当社の製品は国内に競合が少ない。得意分野を生かせるニッチな分野で技術を磨いてきました」と千葉社長。

チバ・テクノは、創業者千葉修二が羽後町出身だった

縁で湯沢市内の民家から生産をスタートした。60～70年代初頭は、日本電信電話公社(現NTTグループ)に製品を納め、幾多の経済危機を乗り越え経営を存続させてきた。業績の向上に伴って生産拠点も拡張し、1984年からは三代目となる現湯沢工場で生産を始めている。そして抵抗器製造で磨いた巻線の技術と加工の技術を生かし1994年に生産を開始したのが、放電加工用のワイヤー電極とパイプ電極である。高精度・高速加工に対応した高品質ワイヤーの開発により、自社ブランド「CT-Wire」は、金属線特有の巻き癖を独自技術で極限まで解消し、高く評価されている。さらに、韓国のワイヤーメーカーと業務提携して微細加工用パイプ電極の生産拠点となる合併会社を設立し、積極的に事業を展開してきた。

千葉社長は2008年に現職に就任。「下請け仕事はやらない」という先代の言葉を今も大切にしている。「下請けは売上げをすることはできるが、いつ注文を切られるかわからない。言われたものを言われた通りに作る仕事ではなく、顧客の要望に対して自ら提案、開発、販売する仕事」。この教えを守り、社内に編成した技術部門にて多品種小ロットで高品質な製品を開発、技術面でも国内屈指の大手企業から信頼を得ている。

構想力を鍛えて付加価値高く

商品開発と並んで重視するのは生産を効率的にする生産技術である。抵抗器は人の手による作業が多いため、省力化、多能工化に取り組んだことで従来の半分以下の人員で生産体制を維持しており、ワイヤー電極は24時間・完全無人化での生産体制を確立している。現在は、技術部門や品質管理部門へ重点的に人員配置している。

同社は企業理念として「顧客満足」「構想力」「未来」を掲げている。生産能力を上げるため、社内に「生産技術課」を置き、自動梱包ライン、各種治具など、省力化のための装置を内製している。「自社製と市販の装置を組み合わせると理想の生産ラインを造っています。ゼロからの技術確立は大変ですが、既存の技術を組み合わせることで能力や品質を何倍にも向上させられる。構想力を磨くことは、中小企業生き残りの秘訣だと考えています」。

また、社員が将来の目標を持って働けるよう、人材育成にも力を入れる。資格の取得、技術研修やビジネス研修などスキルアップを目指す社員には快く支援を行う。湯沢工場の社員は地元雇用が中心で、50年以上地域に雇用を生み出してきた。「秋田は根が真面目で努力家が多い。県や産業技術センターなどの支援も手厚く、ものづくりに最適な地だと感じています」。現在は生産能力拡大のため、工場を増築している。「得意分野を磨き、無理をせずに身の丈にあった経営を続けることで生き残ってきました。当社製品は一般の目にはつきにくいものですが、これからも日本のものづくりを支える仕事を続けていきたい」。



- A 抵抗器、放電加工用のワイヤー電極、パイプ電極などの同社製品群
- B 24時間・無人で稼働しているワイヤー電極製造ライン
- C 体に負担をかけずに重量物を運べる内製装置
- D アルミの切断、穴あけまで1人で加工できるよう工夫した多能ライン

株式会社チバ・テクノ 湯沢工場

〒012-0051 秋田県湯沢市深堀字中川原116-7
TEL. 0183-73-0106 FAX. 0183-73-0199

本社
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-13-12 クリゲルンベルグビル2F
TEL. 045-473-9933 FAX. 045-473-9729
http://www.chb.co.jp
http://chb-shop.com(株式会社チバ・テクノパーツショップ)

○創業/1961年9月
○資本金/7,000万円
○従業員数/86人
○事業内容/電子部品(抵抗器各種の開発・製造)、消耗部品(放電加工用ワイヤー電極、細穴加工用パイプ電極、周辺機器の開発・製造)